

2025年7月2日

各 位

住信SBIネット銀行株式会社

**住信 SBI ネット銀行、金融経済教育の一環として
小・中学生向けキャリア教育教材
『おしごと年鑑 2025』に協賛**

住信 SBI ネット銀行株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長（CEO）：円山 法昭、以下「住信 SBI ネット銀行」）は、将来を担う小・中学生への金融経済教育の一環として、朝日新聞社・朝日学生新聞社が発行する小・中学生向けキャリア教育教材『おしごと年鑑 2025』に協賛しました。



住信 SBI ネット銀行は、SDGs（持続可能な開発目標）への取組みの一環として、2023 年よりキャリア教育教材『おしごと年鑑』に協賛しています。

『おしごと年鑑』は、2016 年から毎年発行されており、日本全国の小中学校（約3万校）と教育委員会、子ども食堂、学童、小児病棟等に寄贈され、子供たちが将来の仕事に対するビジョンを描く手助けとなっています。

『おしごと年鑑 2025』の住信 SBI ネット銀行の掲載ページでは、『ネット銀行ってなあに？スマホで貯金ができるの？』をテーマに、スマホでできる主な銀行取引やネット銀行のサービス、セキュリティなどについて、わかりやすく紹介しています。

ネット銀行ってなあに？ スマホで貯金ができるの？

銀行の仕事 お金や経済に關わる仕事 生活を便利にする仕事



店舗を持たず、インターネット上で仕事をしている銀行のことを「ネット銀行」と呼びます。ネット銀行では、どんなことができて、どんないいところがあるのか、住信SBIネット銀行に聞きました。

A スマートフォンやパソコンなどを使って、インターネット上で取引をする銀行のことだよ。スマホで気軽に貯金もできるんだ。

銀行でできる主な取引

お金を預ける



家に現金を置いておくと、盗難や火災などのリスクがあります。安全かつ確実にお金を預けたいのなら、銀行に預金しておくことで、預金費など将来の備えにもなります。

お金を送る・受け取る



クレジットカードやスマホで決済したお金は、銀行を通過して支払いややり取りがスムーズに行きます。

住信SBIネット銀行では、インターネットでできる銀行なので、リアルなお店を持っていません。お客さんは、スマホでお金や貯金のやり取りをすることができます。

住信SBIネット銀行は、インターネットで利用できる銀行なので、リアルなお店を持っていません。お客さんは、スマホでお金や貯金のやり取りをすることができます。

どの支店の名前にもなると、お金のやり取りがスムーズに行きます。

お金を借りる



銀行からお金を借りる時は、マイホームを購入する際に、銀行からお金を借りる必要があります。

銀行の専用口座を使い、給料の振込やクレジットカードの支払いの支払い、家賃の自動引落（毎月の料金を自動で支払うサービス）などができます。決済履歴については、お金を預けたり銀行の預金口座を通じて支払えるのです。

ネット銀行のサービス

ネット銀行はこんなところもおトク

預金金利アップ

ネット銀行は店舗を持たず、店舗運営も不要のため、一般の銀行よりも営業にかかるコスト（費用）が安く済みます。その分、預金金利を高く設定できたり、送金や入金に際しての手数料を無料（もしくは安く）にしたりするなど、お客さんにとってうれしいサービスが提供できるのです。

手数料が無料

ネット銀行は店舗を持たず、店舗運営も不要のため、一般の銀行よりも営業にかかるコスト（費用）が安く済みます。その分、預金金利を高く設定できたり、送金や入金に際しての手数料を無料（もしくは安く）にしたりするなど、お客さんにとってうれしいサービスが提供できるのです。

ATMでの入出金もいつものスマホで

インターネット専用の銀行の場合、「預金を引き出す場合はどうするの？」と思われるかもしれませんが、そんな心配は、コンビニに設置されているATMで、24時間いつでもお金の入出金が可能です。しかもスマホにアプリを入れておけばキャッシュカードも持たなくてもいいから便利。

キャッシュカードも持ち歩かなくてもいいから便利

ネット銀行は小学生でも自分の口座を持てるからお小遣いも貯金できるホン。

テクノロジーを活用した革新的な金融サービスをご提供いたします

選んでくれた人 住信SBIネット銀行株式会社 広報・IR部の皆さん

住信SBIネット銀行は、「テクノロジーと公正の精神で、豊かさが確かなる社会を創っていく」をスローガンに、AIなどの最先端テクノロジーを活用し、金融サービスを革新し続けています。スマホ1つで銀行の取引ができるなど、お客さまにさらに安心・安全・快適な環境で便利なサービスをご利用いただくため、引き続き新たな価値を創造してまいります。

スマホが銀行の代わりにセキュリティは大丈夫？

スマホへの不正アクセスを厳格に検知できるように、さまざまなセキュリティ対策が施されています。

不正送金を防ぐ「スマート認証 NEO」

スマートフォンに搭載された本人確認機能のアプリを利用した認証（生体認証や顔認証）機能「スマート認証 NEO」が導入されています。顔認証アプリ以外のアプリのインストールや実行時に承認が必要となるため、不正送金防止が期待できます。

第三者からの不正ログインを防ぐ機能

スマート認証 NEO のログイン認証設定を ON にすることで、盗難したスマートフォンからでも顔認証が解除できないため、第三者からの不正ログインを防げます。

取引内容をメールで通知

振込や預け入れの履歴から不正があった場合に、購入履歴がなかった場合に、盗難したスマートフォンからでも顔認証が解除できないため、第三者からの不正ログインを防げます。



また、学校の先生向けに、各教科の単元ごとの授業展開のアイデアを現役の小・中学校の先生たちがまとめた『おしごと年鑑 2025』の使い方」で、住信 SBI ネット銀行の掲載ページが紹介されました。小学校 6 年生 総合的な学習の時間「物やお金の使い方を考えよう」の中で、銀行には店舗を持たないネット銀行があることを知り、スマートフォンで安全に貯金したり、支払ったり、現金を引き出したりできることを学ぶ構成で、情報通信技術をからめた「金融経済教育」ができる内容になっています。

おしごと年鑑指導案集

本協賛により、小・中学生をはじめとする多くの読者の皆さまへ、ネット銀行への興味・関心を深めるきっかけを提供し、ネットを活用した家計管理の方法や資産形成について理解が深まることを目指します。

住信 SBI ネット銀行は、金融経済教育をサステナビリティ重点項目の主な取組みの一つとして位置づけ、取り組んでおります。お客さまの様々なライフステージに寄り添い、引き続き幅広い学びの機会を提供することで、次世代を担う子供たちの育成を後押ししてまいります。

以上

本プレスリリースに関するお問合せ先：住信 SBI ネット銀行 広報・IR 部：03-6779-5495
: kouhou_pr@netbk.co.jp